

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(市街地整備) 事後評価書

#####

計画の名称	1 中心市街地の再生																															
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)					交付対象	茂原市																									
計画の目標	土地区画整理事業により幹線道路の整備と併せて街区の再編を行い、もって中心市街地の移動利便性の確保、細街路の解消による安全性の確保し、安全で安心できる中心市街地の再生を目指す。																															
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 国道128号と茂原駅を連絡する幹線道路の渋滞長をを5% (H26) 短縮する。 地元商店街の来街者数を650人/日 (H22) から680人/日 (H26) に5%増加させる。 																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 主要な交差点の渋滞長を調査し、渋滞長の減少割合を算出する。 (渋滞減少率) = (H22当初渋滞長 - 評価時点の渋滞長) / (H22当初渋滞長) (%) </td> <td>800m</td> <td>775m (3%減)</td> <td>760m (5%減)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 地元商店街の日当り来街者数を調査する。 (地元商店街の来街者数の増加率) = (評価時点の日当り来街者数 - H22当初の日当り来街者数) / (H22当初の日当り来街者数) </td> <td>650人</td> <td>660人 (2%増)</td> <td>680人 (5%増)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	主要な交差点の渋滞長を調査し、渋滞長の減少割合を算出する。 (渋滞減少率) = (H22当初渋滞長 - 評価時点の渋滞長) / (H22当初渋滞長) (%)	800m	775m (3%減)	760m (5%減)		地元商店街の日当り来街者数を調査する。 (地元商店街の来街者数の増加率) = (評価時点の日当り来街者数 - H22当初の日当り来街者数) / (H22当初の日当り来街者数)	650人	660人 (2%増)	680人 (5%増)	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)																													
主要な交差点の渋滞長を調査し、渋滞長の減少割合を算出する。 (渋滞減少率) = (H22当初渋滞長 - 評価時点の渋滞長) / (H22当初渋滞長) (%)	800m	775m (3%減)	760m (5%減)																													
地元商店街の日当り来街者数を調査する。 (地元商店街の来街者数の増加率) = (評価時点の日当り来街者数 - H22当初の日当り来街者数) / (H22当初の日当り来街者数)	650人	660人 (2%増)	680人 (5%増)																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	169百万円 234百万円	A	165百万円 232百万円	B	0百万円 0百万円	C	4百万円 2百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2% 1%																						
1. 交付対象事業の進捗状況																																
交付対象事業																																
A1 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H22	H23	H24	H25	H26																			
1-A-1	都再区画	一般	茂原市	直接	茂原市	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	都市再生土地区画整理 10.7ha	茂原市						165																		
														232																		
合計													165	232																		
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H22	H23	H24	H25	H26																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																					
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H22	H23	H24	H25	H26																			
1-C-1	活動支援	一般	茂原市	間接	茂原榎町商店街振興組合	地域活性化支援事業	集客イベント等の開催	茂原市						4																		
														2																		
合計													4	2																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																					
1-C-1	親子で参加できる「あそび体験」イベントを通し、魅力ある地元商店街を再認識してもらい賑わいを創出する。																															

計画：黒字
実績：赤字

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I	定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・幹線道路の整備と併せて街区の再編を行ったことによる渋滞長を短縮することができた。		
II	定量的指標の達成状況	指標①主要な交差点の渋滞長	最終目標値	760m	目標値と実績値に差が出た要因
			最終実績値	760m	
	指標②地元商店街の日当り来街者数	最終目標値	680人	目標値と実績値に差が出た要因	昼間営業の店舗数が減少することにより、調査時間内の来街者数が減少したが、調査時間外の夜間来街者数は増加している。
		最終実績値	540人		
III	定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・区画道路の整備が進み、区画整理区域内の細街路が解消され交通安全性、移動利便性の向上が図られた。 ・効果促進事業によるイベントが毎年開催されており、年々出店規模も大きくなり例年2000人程の来場がある。これにより地元商店街の認知向上と地域交流の活性化が図られた。 		
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業により、幹線道路の整備及び街区の再編を進め、移動利便性の更なる向上を目指し、もって主要交差点の渋滞長の更なる短縮を目指す。 ・地元まちづくり推進協議会と商業核施設について協議・誘致を進め、商店街を活性化し、来街者数の増加を目指す。 					

(参考様式3) 市街地整備 参考図面

計画の名称	1 中心市街地の再生	交付対象	茂原市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

